

ノースカロライナ・アンビション・キャンプ2019 参加報告書

理学研究科・生命理学専攻 植物生理学グループ

博士後期課程 1年 木下 悟

渡航先：アメリカ合衆国，ノースカロライナ州 ローリー ノースカロライナ州立大学
(NCSU)

渡航期間：2019年5月26日～6月14日 (20日間)

渡航目的：名古屋大学 リーディング大学院 登竜門プログラムと NCSU 国際プログラム
担当 Global Training Initiative (GTI) が共催するノースカロライナ・アンビション・
キャンプ2019 (NC camp) に参加して、起業家精神を学ぶこと。

概要：NC camp は起業家精神 (Entrepreneurship) を学ぶための5回のワークショップとグループワークを中心とした実践的な研修である。ワークショップでは講義経験の豊富な Jennifer Capps 氏が講師として登壇した。ワークショップ前半3回分では、身近な生活の中での問題を探る方法や、その問題点の関わる市場を分析する方法などを学び、後半2回で、解決案の決定方法やビジネスモデルの構築方法、チームの組み立て方法などを学んだ。

グループワークでは、参加者が3人1組のグループに分かれ、身近な生活での問題点を探し、その解決方法を考え、グループごとに新規ビジネスを立ち上げる、という形式で行われた。現地の人へのインタビュー調査と関連するインターネット記事調査を行うことで、アメリカでの身近な問題点を探り、問題の構造や市場を分析することで、解決案を作出した。その後、ビジネスモデルを構築し、最終日には架空の投資者たちから資金を調達するためのプレゼンテーション (Pitch) を模擬ビジネス発表会 (右図) にて行った。グループワーク評価は発表会参加の架空投資者 (計20名) の投票によって行われた。



図：模擬ビジネス発表会の様子

所感：ワークショップとグループワークの他にも、企業した学生によるフィードバック会や、ベンチャー企業の訪問、現地家庭での夜ご飯などアクティビティに富んだ研修であった。起業家精神を学ぶ研修ではあるが、問題の構造把握や理論的な調査計画など研究に通ずるものが多く学べた。慣れない異分野に飛び込むことで新たな知識や経験が多く得られたため、異分野融合研究を謳う GTR 生が参加することはとても意義があることだと感じた。